



マヤ文明の  
遺跡で発見！  
世界初公開の  
シマシマ！



年縞調査隊

# VARVES in MAYA

特別展 マヤの年縞をめぐる冒険 2021

期間延長！

2021.8.4 wed. - ~~10.4 mon.~~ ~ 11.1 mon. まで

福井県年縞博物館 / 若狭三方縄文博物館

- 共催 福井県年縞博物館 / 若狭三方縄文博物館  
 展示協力 立命館大学古気候学研究中心 / サン・クラウディオ年縞プロジェクト / ウスマシンタ川中流域考古学プロジェクト
- 開館時間 9:00~17:00 (最終入館は16:30まで) 火曜休館 (両館共通) ※開期中の8月は無休 ※詳細は各館のホームページ参照
  - 入館料 各館 一般500円 / 小中高生200円 (常設展含む) 両館共通観覧券: 一般700円 / 小中高生280円  
 ※未就学児無料 (両館共通) ※70歳以上は年縞博物館が無料 ※若狭町民は縄文博物館が無料
  - アクセス 〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1 縄文ロマンパーク内  
 JR小浜線「三方駅」より徒歩25分、レンタサイクルで10分 舞鶴若狭自動車道「若狭三方IC」「三方五湖スマートIC」から約5分
  - お問合せ Tel.0770-45-0456 (福井県年縞博物館) Tel.0770-45-2270 (若狭三方縄文博物館)



世界初公開のシマシマ！

マヤ文明の遺跡で発見！



## 舞台はマヤ文明の地 メキシコ・グアテマラ

日本からおよそ1万3000キロメートル、地球3分の1周分も離れた場所——ここには、紀元前1000年頃から16世紀にかけて、かの有名なマヤ文明が栄えていました。マヤの人々は、乾いたサバンナから湿ったジャングルまで、さまざまな環境に暮らし、壮大な石造建築や神聖文字を発達させました。マヤ文明は、いかに生まれて衰退していったのだろう？ その謎を解き明かす冒険が始まります！



展示は2部構成★冒険とお宝をお届け

まずは  
冒険編！



そして  
お宝編へ！

メキシコ・グアテマラ探検記  
(会場：若狭三方縄文博物館)

## マヤ文明の謎に迫れ！ 調査隊の冒険

湖の底に1年に1枚刻まれるシマシマの地層——年縞。もしマヤの地で年縞が見つければ、この文明のことがもっと詳しくわかるかもしれない。そんな野望のもと、ワニの気配におびえながら、湖を掘りまくった冒険の全記録。

主な  
展示

- まずはここから始まった！  
グアテマラの年縞ステンドグラス
- 年縞穴掘りの道具たち（調査隊お手製も！）
- 年縞調査隊アドベンチャーフォトギャラリー

ええやん！



マヤ文明と気候変動  
(会場：福井県年縞博物館)

## ついに見つけた年縞 ——世界初公開

文明はなぜ生まれたのか？あるいは衰退したのか？マヤの遺跡で初めて見つけた年縞には、そこに暮らした人々が経験した気候変動や災害、人間による環境破壊などの記録が刻み込まれています。年縞に隠されたマヤの秘密を読み解きます。

主な  
展示

- マヤの遺跡で発見！  
メキシコの年縞ステンドグラス
- 2017年日本人が発見！マヤ文明最大・最古の遺跡 アグアダ・フェニックス
- 人類と気候の1万年史

パチパチパチ



いらっやいませ



ちらしに登場する表情豊かなイラストたち。じつはマヤ文明で実際に使われていた「神聖文字」です。本来は1文字1文字に意味や音がありますが、ここでは特別展を盛り上げるための台詞をしゃべっています。

おっす！

